



第60回  
栃木県公衆衛生学会抄録集

令和4（2022）年9月13日（火）

オンライン開催

栃木県公衆衛生協会

栃 木 県

## 趣 旨

快適で良好な環境のもとで、生涯に渡って健やかな生活を送ることは、すべての県民の願いです。

しかし、医学の進歩、公衆衛生及び生活水準の向上にもかかわらず、健康を阻害する課題は依然として多く、適切な解決が必要とされています。

そこで、県内の公衆衛生関係者が、健康及び環境問題に対する認識を更に深め、問題解決への意欲を新たにするとともに、関係者の資質の向上と県民の公衆衛生、環境保全に対する関心を高めるため、公衆衛生大会及び公衆衛生学会を開催します。

また、救急医療及び救急業務に対する県民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、救急医療週間記念大会をあわせて開催するものです。

第 6 2 回 栃 木 県 公 衆 衛 生 大 会  
第 6 0 回 栃 木 県 公 衆 衛 生 学 会  
令 和 4 (2022) 年 度 救 急 医 療 週 間 記 念 大 会

プ ロ グ ラ ム

I 公衆衛生大会・公衆衛生学会・救急医療週間記念大会式典

- 1 開 会 (10:30)
- 2 式 辞 大会長 栃木県知事 福田 富一
- 3 挨 拶 学会長 栃木県公衆衛生協会会長 稲野 秀孝  
(栃木県医師会会長)
- 4 表 彰 保健衛生事業功労者 知事表彰  
〃 大会長表彰  
救急医療功労者 知事表彰  
公衆衛生学会発表優秀者 学会長表彰
- 5 来賓祝辞
- 6 受賞者代表挨拶
- 7 記念講演 「コロナ禍をふまえたこれからの医療と健康づくり」(Web 配信)  
講師／国際医療福祉大学学長 鈴木 康裕 氏
- 8 閉 会 (12:20)

## Ⅱ 公衆衛生学会

### 1 口演発表（オンライン開催）

（13：30）

#### ① 第1会場

演題区分 疫学・保健医療情報、医療制度・医療政策、生活習慣病・メタボリックシンドローム、ヘルスプロモーション、親子保健・学校保健

座長 中村 好一（自治医科大学教授）

〃 小沼 一郎（一般社団法人栃木県医師会副会長）

〃 渡辺 晃紀（県西健康福祉センター所長）

#### ② 第2会場

演題区分 高齢者の医療と福祉、高齢者のQOLと介護予防、親子保健・学校保健、精神保健福祉、保健所・衛生行政・地域保健、感染症

座長 草野 英二（一般社団法人栃木県医師会常任理事）

〃 島田 達洋（精神保健福祉センター所長）

〃 塚田 三夫（参事兼安足健康福祉センター所長）

#### ③ 第3会場

演題区分 感染症、健康危機管理、環境保健、その他

座長 内山 浩志（獨協医科大学講師）

〃 小林 由典（栃木県薬務課長）

〃 福士 宏樹（栃木県環境保全課長）

### 2 口演終了

（15：15）

# 第60回栃木県公衆衛生学会の会場別演題

No.欄に○印が付いているものは誌上発表

## 第1会場 (疫学・保健医療情報、医療制度・医療政策、生活習慣病・メタボリックシンドローム、ヘルスプロモーション、親子保健・学校保健)

No.1～No.3 座長 中村 好一 (自治医科大学教授)  
 No.4～No.6 座長 小沼 一郎 (一般社団法人栃木県医師会副会長)  
 No.7～No.8 座長 渡辺 晃紀 (県西健康福祉センター所長)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	幸福度に及ぼす生活習慣の影響と疾病の罹患に対する幸福度の影響	高石 雅樹	国際医療福祉大学	疫学・保健医療情報	11	13:35
2	栃木県における新型コロナウイルス感染ががん診療に及ぼす影響 -栃木県がん診療連携協議会がん登録部会18施設からの報告-	大木 いずみ	栃木県立がんセンター	疫学・保健医療情報	14	13:45
3	機械学習による新型コロナウイルス患者の在院日数を規定する要因の検討	坂本 幸平	国際医療福祉大学	疫学・保健医療情報	17	13:55 14:05
4	医師統計を活用した栃木県に関わりのある医師の動向分析	眞柄 和史	栃木県医療政策課	医療制度・医療政策	19	14:10
5	当施設における受診間隔別の胃がん進行度について	峯田 ひかり	栃木県保健衛生事業団	生活習慣病・メタボリックシンドローム	22	14:20
6	栃木県における医療費等の状況についての考察	田中 伸穂	栃木県保険者協議会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	25	14:30 14:40
7	「ICTを活用した特定保健指導事業」について	神宮 直子	栃木県保健衛生事業団	生活習慣病・メタボリックシンドローム	28	14:45
8	コロナ禍における栃木県食生活改善推進員協議会の取り組み 第2報 ～行政と連携した住民主体型のフレイル対策の促進～	鈴木 美恵子	栃木県食生活改善推進員協議会	ヘルスプロモーション	31	14:55
⑨	学齢期における学校での肥満指導について	藤井 美穂	日光市健康課	親子保健・学校保健	34	

**第2会場**

(高齢者の医療と福祉、高齢者のQOLと介護予防、親子保健・学校保健、精神保健福祉、保健所・衛生行政・地域保健、感染症)

No.1～No.3 座長 草野 英二 (一般社団法人栃木県医師会常任理事)  
 No.4～No.5 座長 島田 達洋 (精神保健福祉センター所長)  
 No.6～No.7 座長 塚田 三夫 (参事兼安足健康福祉センター所長)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	県北健康福祉センター管内医療機関における入退院支援・調整に関する取組状況等に係るアンケート結果について	加藤 貴央	栃木県県北健康福祉センター	高齢者の医療と福祉	39	13:35
2	介護予防教室参加者の生活習慣の変化について	横田 千明	宇都宮市健康増進課保健センター	高齢者のQOLと介護予防	42	13:45
3	真岡市の児童虐待の現状について -令和元～三年度の児童虐待通告ケースの現状・リスク・背景要因等-	小曾根 純子	真岡市いきいき高齢課	親子保健・学校保健	45	13:55
4	本県における薬物依存症対策の現状	若林 勇輝	栃木県薬務課	精神保健福祉	48	14:05
5	地域協働による小中学生のヘルスリテラシー向上への取り組み -メディアが及ぼす生活習慣への影響に焦点を当てて-	藤田 京子	ウエルネス・メンタルヘルス研究所	精神保健福祉	51	14:10
6	県北健康福祉センター協議会 地域職域連携推進部会における3年間の取組と課題 ~withコロナを見据えた健康づくり~	桜井 万弓	栃木県県北健康福祉センター	保健所・衛生行政・地域保健	54	14:20
7	新型コロナウイルス感染症対応における保健師が介入した事例についての考察	上野 和沙	栃木県県南健康福祉センター	感染症	57	14:30
⑧	措置入院者に対する退院後支援の試行運用を通して見えた精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について(第2報)	笹沼 友絵	栃木県県北健康福祉センター	精神保健福祉	60	14:35

### 第3会場 (感染症、健康危機管理、環境保健、その他)

No.1～No.4      座長 内山 浩志      (獨協医科大学講師)  
 No.5～No.7      座長 小林 由典      (栃木県薬務課長)  
 No.8～No.9      座長 福士 宏樹      (栃木県環境保全課長)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	栃木県における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生状況について	菊地 修平	栃木県感染症対策課	感染症	65	13:35
2	栃木県における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大・収束の背景について	菊地 修平	栃木県感染症対策課	感染症	68	13:45
3	県南地域における新型コロナウイルス感染症の発生動向と対応について	松本 絵里	栃木県県南健康福祉センター	感染症	71	13:55
4	新型コロナウイルス感染症への中和抗体薬等の治療に係る保健所の対応と対象者の特徴	奥山 啓子	栃木県県南健康福祉センター	感染症	74	14:05
5	栃木県内で検出されたSARS-CoV-2(新型コロナウイルス)の分子疫学解析【第1報】	齋藤 明日美	栃木県保健環境センター	感染症	77	14:15 14:20
6	栃木県内で検出されたSARS-CoV-2のハプロタイプネットワーク解析【第1報】	関川 麻実	栃木県保健環境センター	感染症	80	14:30
7	無症状者を対象とした新型コロナウイルス感染症抗原定量検査の実施報告(第2報)	太田 千晴	栃木県保健衛生事業団	感染症	83	14:40 14:50
8	栃木県における気候変動の将来予測と活用について	青柳 貴彦	栃木県気候変動対策課	健康危機管理	86	14:55
9	県内の環境中に排出される廃プラスチック類に関する調査(第3報)	神野 憲一	栃木県保健環境センター	環境保健	89	15:05
⑩	GMP関連業務の電子化への取り組み事例紹介(中小企業としての対応)	櫻井 恵弥	ジェーピーエス製薬株式会社	その他	92	
⑪	医薬品製造工場におけるリモート監査事例	吉田 光一	持田製薬工場株式会社	その他	95	

## 注 意 事 項

### 1 発表される方へ

- ① 発表の順序及び発表者の変更は、原則として認めません。
- ② 「次演者席」が設けてありますので、あなたの前の発表が始まると同時に「次演者席」に着席してください。
- ③ 発表時間は8分以内です。質疑討論時間は2分以内です。
- ④ 時間の経過はベルでお知らせします。  
(7分経過：ベル1回 8分経過：ベル2回 10分経過：ベル3回)
- ⑤ パソコン等の機器操作は、事務局側の指示に従ってください。

### 2 質疑される方へ

- ① 発表に関する質問、意見を述べる時は、必ず座長に従ってください。
- ② 質疑討論は一括して行う時もあります。
- ③ 発言する場合は、所属・氏名を述べてください。
- ④ 質疑討論時間は、1題につき2分以内です。

### 3 御参加の皆様へ

- ① Zoom Cloud Meetingsを使用しますので、事前にパソコン等へのインストールをお願いします。
- ② 聴講者の方は、口演発表中はマイクをOFFにしてください。質疑がある時は、座長の指示に従い、マイクをONにして質疑してください。
- ③ Zoom Cloud Meetingsの操作方法に関する御質問やお問い合わせにつきましては、事務局ではお受けできませんので、何卒御了承の程よろしくお願いいたします。
- ④ 聴講者宛てにお知らせしているミーティングURL及びミーティング番号は、学会当日以外は、絶対に使用しないでください。